



ワイヤレスレーザーマウス

M-NE5DL シリーズ

ユーザズマニュアル

このたびは、エレコム ワイヤレス レーザーマウス "M-NE5DL" シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは "M-NE5DL" シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※このマニュアルでは一部の表記を除いて "M-NE5DL" シリーズを「本製品」と表記しています。

■絵表示の意味

	危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電による死亡や大けがなど人身事故が生じる高度な危険があります。
	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- 「してはいけない」ことを示します。
- 「しなければいけないこと」を示します。
- 「注意していただきたいこと」を記載しています。
- 「お願ひしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	危険
	● 接続ケーブルは当社指定のものを使用し、当社指定の充電条件を守ってください。その他のアダプタまたは条件で充電すると、充電池が発熱、液もれ、破裂するおそれがあります。
	● 分解改造しないでください。火災や感電等の原因となります。
	● 液もれした場合は使用しないでください。内蔵の充電池より液もれがあった場合は、液もれした充電池は使用しないでください。発熱、破壊させる原因となります。
	● 本製品の異常に気づいたら使用を中止してください。液もれ、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたら使用しないでください。そのまま使い続けると、発熱、破裂するおそれがあります。
	● 本製品から漏れた液が体や衣服についたら、きれいな水で洗い流してください。内蔵の充電池の中の液が皮膚や衣服につくと、皮膚に傷害をおこす原因となります。
	● 内蔵の充電池の中の液が目に入った場合は失明の原因になることもあるので、こすらずにすぐに綺麗な水で充分洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
	● めれた手で本製品を抜き差ししないでください。感電やケガをすることがあります。
	● 決められた電圧でご使用ください。範囲外の電圧で使用すると、発熱、発火、感電、ケガの原因になります。

	警告
	● 本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レーザーバユニットをパソコンから取り外してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

	警告
	● 本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、火傷しないように発熱していないことを十分確認した後で、レーザーバユニットをパソコンから取り外してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
	● 本製品を落としたり、ぶついたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、レーザーバユニットをパソコンから取り外してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
	● 本製品の分解や改造、修理などをご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。故障時の保証の対象外となります。
	● 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
	● レシーバユニットはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。
	● レシーバユニットは、お子様が誤って飲み込んでしまう危険がありますので、絶対にお子様の手の届かないところに保管してください。

	注意
	● 本製品を次のようなところには置かないでください。 ● 日のあたる自動車内、直射日光のあたる ● 暖房器具の周辺など高温になる ● 多湿なところ、結露をおこす ● 平坦でないところ、振動が発生する ● マグネットの近くなどの磁場が発生する ● ほこりの多い
	● 本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。
	● 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。 ● 本製品を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

■ お手入れのしかた
本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

● シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式には GFSK 方式を採用し、与干渉距離は 10m です。
2.4GHz 帯は、医療機器や Bluetooth、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。
● 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局 *」が運用されていないか確認してください。
● 万一、本製品と「他の無線局 *」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
※「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

	警告
	● 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。 ● 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器（例えばペースメーカー）などに影響を及ぼす恐れがあります。 ● 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式マウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします ※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じて、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

レーザーマウスにおける注意事項

本製品は、JIS C6802 及び国際標準化機関 IEC60825-1 に基づいた CLASS1 に準拠し、安全性を確保しておりますが、下記事項に十分注意した上でご使用下さい。

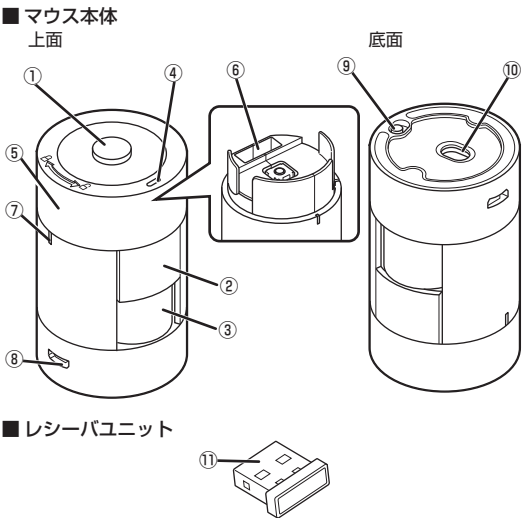
- (1) 顕微鏡・虫眼鏡等の光学的手段を用いてレーザー光を観察したり、レーザーを肉眼で長時間覗き込むことは、目に悪影響を及ぼす可能性があるため絶対におやめください。(レーザー光には肉眼で見えないものもあります。)
- (2) マウスの裏面を人の目に向ける事は危険ですのでおやめください。
- (3) レーザーセンサーはガラスや鏡の表面では正常に動作しない場合があります。
- (4) パソコン用マウス以外の用途に使用しないでください。
- (5) 範囲を超えた気温に製品がさらされる場合は、パソコンの電源を切り、気温が範囲内になるまで製品をお使いにならないでください。
- (6) 正常に動作しない場合は、パソコンの電源を切り、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- マウス本体.....1 個
- レシーバユニット.....1 個
- 充電ケーブル [USB A ⇄ micro-B] (0.7m)1 本
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです).....1 部

各部の名称とはたらき



- マウス本体
- 上面
- 底面
- レシーバユニット
- ① **右ボタン**
パソコンの操作の右クリックに使います。
 - ② **左ボタン**
パソコンの操作の左クリックに使います。
 - ③ **ホイール**
指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。
 - ④ **充電 / 電池残量表示ランプ**
内蔵電池の容量が少なくなると緑色に点滅します。内蔵電池の充電中は緑色に点灯します。内蔵電池の充電が終了して容量が十分な場合は消灯します。
 - ⑤ **レシーバユニットカバー**
このカバーを取り外して、レシーバユニットを入れます。
 - ⑥ **レシーバユニット収納部**
レシーバユニットを収納します。
 - ⑦ **カバー開閉マーク**
レシーバユニットカバーの開閉、ロックを指示します。
 - ⑧ **充電コネクタ**
付属の充電用 USB ケーブルを接続して、パソコンの USB ポートより内蔵電池を充電します。
 - ⑨ **電源スイッチ**
マウス本体の電源を入 (ON) / 切 (OFF) します。
 - ⑩ **レーザーセンサー**
マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。
※ センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。非可視視線のため肉眼では見えません。
 - ⑪ **USB コネクタ (オス)**
パソコンの USB ポートに接続します。

使用時の準備

マウスを充電する

初回使用時や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。
充電には付属の USB 充電ケーブルを使用します。

- 充電が完了するまで、約 3.5 時間かかります。3.5 時間経過後でも充電表示ランプが消灯しない場合は、USB 充電ケーブルを取り外し、いったん充電を取りやめてください。3.5 時間を越えて充電を続けると、電池寿命が短くなったり、故障の原因となります。
※充電時は電源スイッチをオン状態で充電してください。

- 1 マウス本体の充電用コネクタに付属の充電用 USB ケーブルの USB [micro-B] コネクタを接続します。
- 2 USB 充電ケーブルの USB [A] コネクタをパソコンの USB ポートに接続します。

- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。

- 3 パソコンの電源が入っていない場合は、電源を入れます。
充電 / 電池残量表示ランプが緑色に点灯し、充電を開始します。
充電が完了すると、消灯します。

- 所定の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

マウス本体の電源を入 (ON) / 切 (OFF) する

■ マウス本体の電源を入れる
本製品を使用するときは、マウス本体の電源を入れます。
電源スイッチを ON の位置にスライドさせます。
電池残量表示ランプが、一定時間緑色で点灯します。
※電池残量が少ないときは、一定時間緑色で点滅します。

Windows® で使用する

Step1 USB ポートを確認する

お使いのパソコンの USB ポートを確認してください。

- USB ポートはどのポートでも使用できます。
● USB ハブ経由でも使用できます。ただし、USB ハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

Step2 レシーバユニットを取り付ける

- 1 パソコンを起動します。
 - Windows® の起動時にログオンするアカウント (ユーザー名) を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
 - Windows® が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

- 2 レシーバユニットをパソコンの USB ポートに挿入します。
この部分に挿入します。

- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
● 挿入時に、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。

- 3 Windows 標準マウスドライバが自動的にインストールされます。

■ マウス本体の電源を切る
本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで、電池を節約できます。
電源スイッチを OFF の位置にスライドさせます。

■ スリープ状態から復帰する
マウスの右ボタンをクリックします。

● 電池の消耗を抑えるため、電源スイッチが ON の状態で操作せずに一定時間経過すると、マウスが自動的にスリープ状態に移行します。

レシーバユニットを収納する / 取り出す

■ レシーバユニットを収納する

- 1 レシーバユニットカバーを反時計回りに回して、取り外します。

- 2 レシーバユニットをレシーバユニット収納部に収納します。

- 3 レシーバユニットカバーを元通りに取り付け、時計回りに回してマークを合わせます。

■ レシーバユニットを取り出す

- 1 レシーバユニットカバーを逆時計回りに回して、取り外します。

- 2 レシーバユニットをレシーバユニット収納部から取り出します。

- 3 レシーバユニットカバーを元通りに取り付け、時計回りに回してマークを合わせます。

Step3 ホイールの動作を確認する

Windows® の「Internet Explorer」でマウスのスクロールが正常に動作しているかを確認します。

- 1 [スタート] ボタンから [すべてのプログラム] - [Internet Explorer] の順にクリックします。
「Internet Explorer」が起動します。

- 2 Internet Explorer でお好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下のスクロールバーが表示されるように変更します。
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。



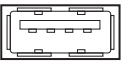
- 3 マウスのホイールを前後に動かします。
指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。

- スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

Mac OS Xで使用する

Step1 USBポートを確認する

お使いのパソコンのUSBポートを確認してください。



USBポート



- USBポートはどのポートでも使用できます。
- USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

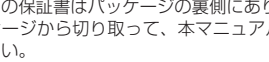
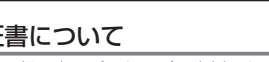
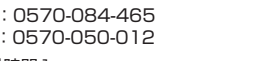
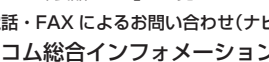
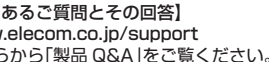
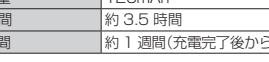
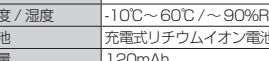
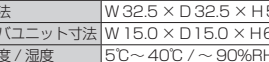
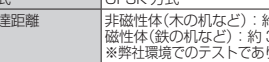
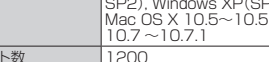
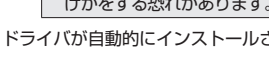
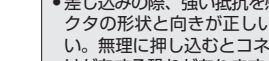
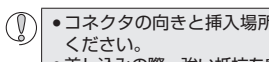
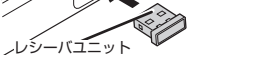
Step2 レシーバユニットを取り付ける

1 パソコンを起動します。

- Macintoshが起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

2 レシーバユニットをMacintoshのUSBポートに挿入します。

この部分に挿入します。



基本仕様

製品名	ワイヤレスレーザーマウス
製品型番	M-NE5DL シリーズ
対応 OS	Windows 7(～SP1)、Windows Vista(～SP2)、Windows XP(SP3) Mac OS X 10.5～10.5.8、10.6～10.6.8、10.7～10.7.1
カウント数	1200
対応インターフェイス	USB
電波周波数	2.4GHz 帯
電波方式	GFSK 方式
電波到達距離	非磁性体(木の机など)：約 10m 磁性体(鉄の机など)：約 3m ※弊社環境でのテストであり保証値ではありません。
本体寸法	W 32.5 × D 32.5 × H 53.0 mm
レシーバユニット寸法	W 15.0 × D 15.0 × H 6 mm
動作温度 / 湿度	5℃～40℃ / ～90%RH (ただし結露なきこと)
保存温度 / 湿度	-10℃～60℃ / ～90%RH (ただし結露なきこと)
対応電池	充電式リチウムイオン電池(本体内部)
電池容量	120mAh
充電時間	約 3.5 時間
動作時間	約 1 週間 (充電完了後から使用する場合)

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】 www.elecom.co.jp/support こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。
【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】 エレコム総合インフォメーションセンター TEL：0570-084-465 FAX：0570-050-012 【受付時間】 9:00～19:00 年中無休

保証書について

本製品の保証書はパッケージの裏側にあります。パッケージから切り取って、本マニュアルと一緒に保管してください。

Step3 ホイールの動作を確認する

Mac OS X に付属の「Safari」でマウスのスクロールが正常に動作しているかを確認します。

1 Dockに登録されている「Safari」のアイコンをクリックします。



Safari が Dock に登録されていない場合は、「アプリケーション」フォルダ内の「Safari」をダブルクリックします。

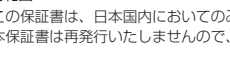
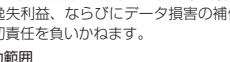
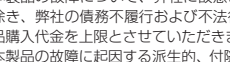
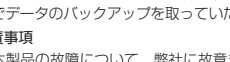
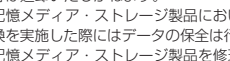
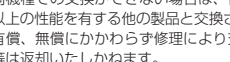
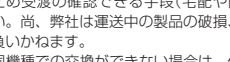
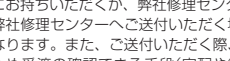
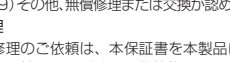
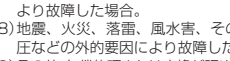
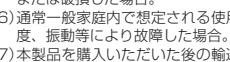
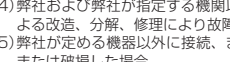
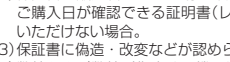
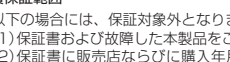
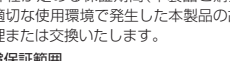
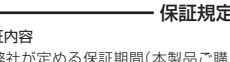
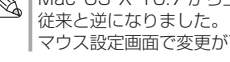
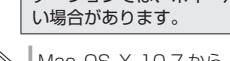
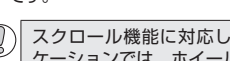
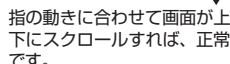
2 Safari でお好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下のスクロールバーが表示されるように変更します。

※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。



スクロールバー

3 マウスのホイールを前後に動かします。



トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かない、動作が不安定

➔使用している場所の光の反射率がレーザーマウスに適していない可能性があります。レーザーマウスに対応したマウスパッドの上で本製品を使用してください。

➔スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、マウスの動作が安定するところまでレシーバユニットをマウスに近づけてください。

➔レシーバユニットがパソコン本体などのUSBポートに正しく接続されていない可能性があります。一度レシーバユニットをUSBポートから取り外して、接続し直してください。

➔レシーバユニットとマウス本体の距離が離れすぎているか、レシーバユニットが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。レシーバユニットの位置を調整するなどしてください。

本製品の動作範囲は、レシーバユニットとマウス本体が半径10m以内です。使用環境によっては、約10mの範囲内でもマウスが正常に動作しない場合があります。

その場合は、動作が安定するところまで、マウスをレシーバユニットに近づけてください。

➔本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。他のワイヤレス機器のチャンネルを変更してください。(本製品同士ではチャンネル回避自動機能が動作します。)

➔電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「マウスを充電する」(表面)を参照し、充電してください。

•内蔵電池の残量が少なくなると、充電 / 電池残量表示ランプが緑色に点滅します。

※マウスを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。

➔Windows 標準マウスドライバが正しくインストールされず、本製品がWindows®に「不明なデバイス」として登録されている可能性があります。本製品は通常は「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、「不明なデバイス」の削除方法を参照し、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「Step2 レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

➔本製品の前にお使いになっていたマウスがメーカーオリジナルのドライバや設定ユーティリティなどを利用していた場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。他社製ドライバなどがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストール方法については、今までお使いのマウスの説明書をお読みください。

➔ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

■マウスカーソルは動くが、ホイールが動かない

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

➔スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

1 デバイスマネージャを表示します。

- Windows® 7、Windows Vista® の場合
1. [スタート] ボタンをクリックし、[コンピュータ] (Windows Vista® では [コンピュータ]) を右クリックします。
- 2. [プロパティ] をクリックします。

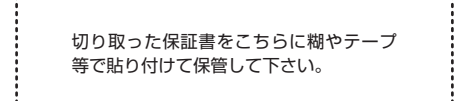
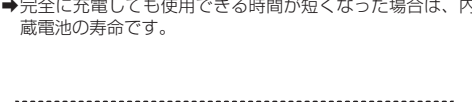
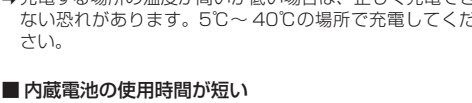
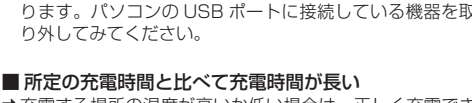
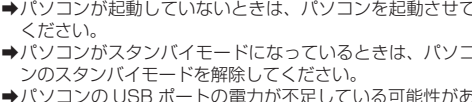
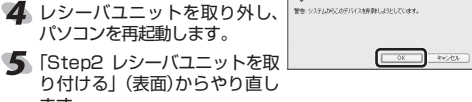
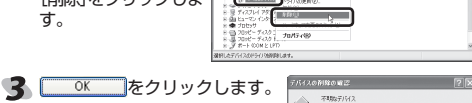
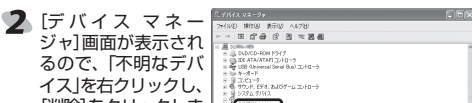
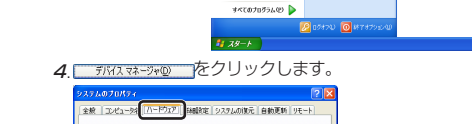


3. [デバイス マネージャ] (Windows Vista® では [デバイス マネージャ]) をクリックします。



•Windows® XP の場合

- 1. [スタート] ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ] を右クリックします。
- 2. [プロパティ] をクリックします。
- 3. [ハードウェア] タブをクリックします。





Konformitätserklärung gemäß dem Gesetz über Funkanlagen und Telekommunikations-einrichtungen (FTEG) und der Richtlinie 1999/5/EG (R&TTE) sowie 2006/95/EG (LVD)
 Declaration of Conformity in accordance with the Radio and Telecommunications Terminal Equipment Act (FTEG), Directive 1999/5/EC (R&TTE Directive) and 2006/95/EC (Low Voltage Directive)

Der / the
 Hersteller / Importeur / The manufacturer Importer
 Adresse / Address

ednet gmbh
Oberriederbacher Weg 36
D - 65843 Sulzbach am Taunus

erklärt, dass das Produkt
 declares that the product

Art. Nr. / Art. No.:
 Modell / Model:
 Typ / Type:
 Geräteklasse / Equipment class:

13108-5 13109
M-NE5DL
WIRELESS LASER MOUSE
Funkanlage Klasse 1 / Radio Equipment Class 1

bei bestimmungsgemäßer Verwendung den grundlegenden Anforderungen des § 3 und den übrigen einschlägigen Bestimmungen des FTEG (Artikel 3 der R&TTE) entspricht,
 complies with the essential requirements of §3 and the other relevant provisions of the FTEG (Article 3 of the R&TTE Directive), when used for the intended purpose.

1. Gesundheit und Sicherheit gemäß § 3 (1) 1. (Artikel 3 (1) a) Health and safety requirements pursuant to § 3 (1) 1. (Article 3 (1) a)	EN 60950-1 + A11:2006 EN 60950-1:1994+A1	Ausgabe: 2009 Issue: 2002
angewendete harmonisierte Normen harmonized standards applied		
2. Elektromagnetische Verträglichkeit § 3 (1) 2. (Artikel 3 (1) b) Electromagnetic compatibility § 3 (1) 2. (Article 3 (1) b)	EN 301 489-1 V1.6.1 EN 301 489-3 V1.4.2	Ausgabe: 2004 Issue: 2002
angewendete harmonisierte Normen harmonized standards applied		
3. Effizienter Nutzung des Funkfrequenzspektrums § 3 (2), Artikel 3 (2) Efficient use of the radio frequency spectrum § 3 (2), (Article 3 (2))	EN 300 441 V1.6.1 EN 300 441 V1.4.1	Ausgabe: 2010 Issue: 2010
angewendete harmonisierte Normen harmonized standards applied		

T. Krebs

Dipl.-Ing. Tobias Krebs
 Sulzbach, den 15.07.2011
 Ort, Datum der Konformitätserklärung
 Place & date of the declaration of conformity



en When you no longer need to use this product and the battery, be sure to dispose of it in accordance with the local ordinances and laws of your area.

de Wenn Sie dieses Produkt und die Batterie nicht mehr verwenden müssen, achten Sie darauf, es gemäß den lokalen Verordnungen und Gesetzen Ihres Gebiets zu entsorgen.

fr Lorsque vous n'avez plus besoin d'utiliser ce produit ni les piles, assurez-vous de vous en débarrasser en conformité avec l'arrêté local et les lois de votre région.

nl Gebruik in dit product batterijen die als KCA afgevoerd kunnen worden. Voer batterijen af in overeenstemming met de lokaal geldende voorschriften.

es Cuando ya no necesite utilizar este producto ni la pila, deshágase de ellos respetando las ordenanzas y normativas locales.

it Quando non si ha più bisogno di utilizzare il prodotto e la batteria, assicurar-si di eliminarlo seguendo le normative e le leggi locali del proprio paese.



en Hereby, ELECOM Co., Ltd., declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive [2004/108/EC], [1999/5/EC] and [2006/95/EC].

de Hiermit erklärt ELECOM Co., Ltd., dass dieses Produkt die wesentlichen Anforderungen sowie die sonstigen Vorschriften der Richtlinie [2004/108/EC], [1999/5/EC] ist und [2006/95/EC] erfüllt.

fr Par la présente, ELECOM Co., Ltd. déclare que ce produit est en conformité avec les conditions essentielles et autres dispositions de la Directive [2004/108/EC], [1999/5/EC] et [2006/95/EC].

nl Hierbij verklaart ELECOM Co., Ltd. dat dit product in naleving is van de benodigde eisen en andere relevante bepalingen van Richtlijn [2004/108/EC], [1999/5/EC] is en [2006/95/EC].

es Por el presente documento, ELECOM Co. Ltd., declara que este producto cumple los requisitos esenciales y todo el resto de disposiciones pertinentes de la Directiva [2004/108/EC], [1999/5/EC] y [2006/95/EC].

it Con la presente, ELECOM Co., Ltd., dichiara che il presente Prodotto soddisfa i requisiti essenziali e le altre normative applicabili della Direttiva [2004/108/EC], [1999/5/EC] e [2006/95/EC].

www.ednet-gmbh.com

ednet gmbh Oberriederbacher Weg 36 D-65843 Sulzbach/Taunus Germany Telephone:+49 6196 8838 0 Telefax:+49 6196 8838 111	ednet ag Schweiz Motorenstraße 35 CH-8623 Wetzikon Switzerland Telephone:+41 44 970 10 32 Telefax:+41 44 970 10 31
ednet gmbh Zweigniederlassung Österreich Renweg 83 A-2345 Brunn am Gebirge Austria Telephone:+43 2236 379 560 10 Telefax:+43 2236 379 560 40	ednet gmbh Office Belux/France Rue Bruyère d'Elvigne 15 B-1470 Bousval Belgium Telephone:+32 (0) 10 22 22 21 Telefax:+32 (0) 10 22 95 75
ednet Nederland B.V. Postbus 135 NL- 4780 AC Zevenbergena The Netherlands Phone: +31(0)76-51 39 393 Fax: +31(0)76-51 38 243	

Cautions for Laser Mouse / Warnhinweise für Lasermouse / Avertissement pour la Souris Laser / Voorzorgsmaatregelen voor laser muis / Precauciones relativas al ratón láser / Precauzioni per il Mouse Laser

en Though this product complies with the IEC60825-1 Class 1 laser safety standard to ensure safety, pay special attention to the following before use.

(1) Never observe the laser beam by using an optical measure such as a microscope or magnifier or view the laser with the naked eye for a long period of time. Doing so may have an adverse effect on the eye. (Some laser beams cannot be seen with the naked eye.)

(2) Never aim the rear surface of the mouse at a person's eyes, as this is very dangerous.

de Obwohl dieses Produkt dem Lasersicherheitsstandard IEC60825-1 Klasse 1 entspricht, sollten Sie aus Sicherheitsgründen die folgenden Hinweise vor der Verwendung beachten.

(1) Vermeiden Sie es, den Laserstrahl mit einem optischen Instrument, wie zum Beispiel einem Mikroskop oder einem Vergrößerungsglas, zu beobachten oder mit bloßem Auge über längere Zeit in den Laser zu sehen. Dies könnte negative Auswirkungen auf Ihre Augen haben. (Einige Laserstrahlen sind mit bloßem Auge nicht sichtbar.)

(2) Vermeiden Sie es, die Rückseite der Maus auf die Augen einer Person zu richten, da dies sehr gefährlich ist.

fr Mème si ce produit est en conformité avec le standard de sécurité laser IEC60825-1 Classe 1 afin de garantir la sécurité, faites spécialement attention aux éléments suivants avant l'utilisation.

(1) Ne jamais observer le rayon laser avec un système de mesure optique comme un microscope ou amplificateur ou bien à l'œil nu pendant une longue durée. Cela pourrait endommager les yeux. (Quelques rayons laser ne peuvent pas être regardés à l'œil nu.)

(2) Ne jamais viser les yeux des personnes avec l'arrière de la souris car c'est très dangereux.

nl Ook al voldoet dit product aan de IEC60825-1 Klasse 1 laser veiligheids-standaard om veiligheid te waarborgen, dient u voor gebruik in het bijzonder op het volgende te letten.

(1) Bekijk de laserstraal nooit met optische meetapparatuur zoals een microscoop of vergrootglas of met het blote oog voor een lange periode. Dit kan nadelige effecten op het oog hebben. (Sommige laserstralen kunnen met het blote oog niet worden gezien.)

(2) Richt de onderkant van de muis nooit naar iemands ogen, want dit is heel gevaarlijk.

es Aunque este producto cumple la norma de seguridad para láser IEC60825-1 Clase 1, hay que prestar una atención especial a los siguientes elementos antes de utilizarlo.

(1) No mire jamás el rayo láser con un medidor óptico, por ejemplo, un microscopio o una lupa, ni observe el láser durante periodos de tiempo prolongados. Esto puede tener consecuencias adversas para la visión (algunos rayos láser no pueden verse a simple vista).

(2) No apunte jamás a los ojos de una persona con la superficie trasera del ratón; es muy peligroso.

it Anche se questo prodotto è stato costruito nel rispetto dello standard di sicurezza del laser di Classe 1 IEC60825-1 per garantirne la sicurezza, prestare attenzione alle seguenti istruzioni prima dell'uso.

(1) Non osservare mai il raggio laser utilizzando un dispositivo ottico come un microscopio o una lente di ingrandimento o guardare il raggio laser a occhio nudo per un lungo periodo di tempo. Si potrebbe danneggiare l'occhio. (Alcuni raggi laser non possono essere visti a occhio nudo.)

(2) Non puntare mai la superficie inferiore del mouse verso gli occhi di una persona, dal momento che è molto pericoloso.

CLASS 1
LASER PRODUCT

ワイヤレスレーザーマウス
M-NE5DL シリーズ
ユーザーズマニュアル
2011 年 8 月 25 日 第 1 版
エレコム株式会社

・本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。

・本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。

・本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。

・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。

・本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任をいかねますのでご了承ください。

・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要で

・Windows および Windows ロゴは、マイクロソフトの企業グループの商標です。

・Mac および Mac ロゴは、合衆国およびその他の国々で登録されているアップル社の商標です。

・その他本マニュアルに記載されている会社名・製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。